

若葉保育園では、毎週木曜日と、金曜日は隔週で午前のみ行っています。午前中の1時間～1時間半程度、活動できる時間があるので、午前中はクラス全員で作品制作をし、午前の自由遊びの時間は自由参加で制作をしています。約2カ月程の長い時間をかけて、街と海のジオラマをつくり上げることができました。最初に子どもひとりひとりと会話し、「何つくりたい？」の質問に「大きいクジラ」や「サメ」など、海の生物を挙げる子が多かった(夏だから?)ことがきっかけとなり、つくるうちに、街や山や景色が増えていきました。一番に心がけたことは、見た目の完成度よりも、こどもの意思や思いをできる限り尊重することです。その為に、制作中もこどもの思いを出来るだけ汲み取り、それに柔軟に対応できる画材などの準備をしました。また、多種多様な素材や表現方法も導入するようにしました。はじめは、「お家はこうすると簡単につくれるよ」など、やり方を教えて全員で同じようにつくる作業でしたが、要領を掴んできだすと、自分で他の建物を進ん制作する姿なども多く見られるようになりました。絵画制作ではあまり乗り気じゃなくて、あまり制作が好きじゃないのかな?と思っていた子が立体制作では得意そうに本領発揮する姿もあり、ものをつくる上での楽しさを見つけた様子でした。最終的に、私が想像していた完成形よりもはるかに充実した作品が出来上がりました。どこを見ても色んな色が微妙に混ざり合い、退屈させることのない、密度の高い空間が完成しました。街も生物もすべてが表情豊かです。



おままごとコーナー



午後の自由時間を使って、おままごとコーナーを充実させています。教室にせっかく十分なスペースがあるので、自由参加型で手作り家具を揃えることになりました。海と街のジオラマと同時進行で取り組んでいます。おままごとのスペースは子どもたちにとっては日常的な空間で、自分が必要とするものを自分でつくる、ということが彼らにとって直接的であり、取り組む姿勢がとても真剣で、ひとつひとつ完成する度に達成感を味わっている様子でした。子ども同士でアイデアを出し合い役割分担をしたり、私も相談に乗り、こどもで出来ない作業は私がしながら作業を進めています。ある範囲のなかで自分の表現をするのとは違い、つくりたいものが明確にあって、それをつくるには何が必要か、どうすると出来るか、自分で考えて制作する姿が多く見られます。すべて子どもたちのアイデアで完成に向かっていく空間が、着々と出来上がっていきます。

